

8. それ等が 松浦地方から、福岡の方に行き、日本の文化として発達して行きました。
考古学者はこの松浦地方を地下博物館と云つて研究し、日本の最初の起りは 日向でなくてこの松浦地方ではないかと、今では云われる位であります。

即ち、昔は大陸(朝鮮、支那)の文化の入口になつていたわけであります。

沢山な古墳

以上のように松浦地方は有名な土地であつただけに、こゝを支配する偉い人もいたわけで、それが想像される、昔の立派な墓が沢山あります。鏡山の周囲、玉島附近には沢山な古い墓があつて、その墓の中から、鏡、勾玉、水晶の玉、刀の残片、金の耳飾り、腕輪等が発見されています。有名な古墳は

島田塚 鏡、恵日寺の近くにある。

横田古墳 鏡の東側横田にある。

谷口古墳 洪崎の東にある。

兼山尻ドルメン 柏崎兼山尻。

五反田ドルメン 五反田にある。

此の外、かめ指や、貝塚も柏崎から出ています。

名所、旧蹟

唐津城 —— 舞鶴公園

唐津城は秀吉の臣、寺沢志摩守広高が、この地方を領有するよつて城を築いたものです。今から約三百五十年前と、年回の歳月を費し、慶長十三年に完成しましたが、その資材は名護屋城を解体した物によつて作りました。この城が代々小笠原公迄続いた訳です。

一名舞鶴城と云うのは、この城を胴体とし、東に虹の松原、西に昔は妙見松原があつたので鶴が羽をひろげ空を舞う形に似ているので名付けられ、頭は高島で、東側の松原がクチバシです。現在公園となり、春の桜、藤、つばは見事なものです。

公園からの眺めは唐津松浦湾の代表的景色で、来遊客には是非登つてもらい、松浦湾の景観を觀賞して頂き度いものです。

鏡山

鏡山は県立公園で、別名を鏡布麻山又はと面山とも云い、何処から見ても同じ形で、高さ二〇〇米余、日本三大傳説の一つ、松浦佐用姫の悪物語の山で、万葉の古歌にも詠まれ、淨瑠璃の「朝顔日記」にも出て来る有名な山です。

万葉集より

遠つ人松浦佐用姫つまこひに ひれふりしよりおえる山の名

山上憶良